



すみれ組担任 安部 優子さん

# 子どもたちにありがとう

## 夏

休み明けに休園することを知りました。このすみれ組の13人が最後の卒園生になるのかなと思うと、これまでに以上に色々なことに挑戦させてあげたいと考えるようになりました。

先生の話をよく聞いてくれる子どもたちでしたので、一緒に考えを出し合いながら興味のあることを見つけて取り組んできた半年間でした。

すみれ組の子どもたちは、特に砂場で遊ぶのが好きで、幼稚園の砂場にある藤の木の根が出るまで砂を掘っていたこ

とをきっかけに『土』をテーマにして保育を進めたこともありました。

土の中の生き物から始まり、水のしみ込み方、水道管や井戸水のことなど興味がどんどん広がりました。子どもたちはいつも真剣で、一緒に楽しみながら時を過ごしてきました。

話を聞くことができる子どもたちは、話することも上手でした。発表会では、一人

# 子どもたちはいつも一生懸命でした。



みんなで読んだ大好きな本の中身も忘れません！

ひとりが将来の夢を発表し、緊張しながらもしっかり自分の夢を語ることができました。子どもたちの大きな成長を感じることができた瞬間でした。この春から、子どもたちはそれぞれの小学校に入学しますが、川俣幼稚園を卒園したという誇りを胸に、新しい環境でもまた大きく成長していつてくれたらと思います。

全てが『最後』の半年間でしたが、川俣幼稚園で一生懸命過ごしてくれた子どもたちに心から感謝します。みなさん、ありがとう。

## すみれ組



学生に。



## すべてが最後の半年間、

# さ

くら組は6人という少数のクラスでしたが、一人ひとりが可能性を秘めた個性豊かな子どもたちで笑いの絶えない楽しいクラスでした。

友達思いの優しい子ばかりだったため、子どもたち同士で助け合い、励まし合って成長してきました。

入園から1年ですが、みんな入園した頃より話が上手になって、丁寧な言葉で話せるようになりました。また、お絵描きも最初は何色でも良かったのが、色を選んだり、髪の毛や手足も上手に書くことが

できるようになってきました。日々、小さな成長が目に見えるようで、今では子どもたちと過ごした全ての時が愛おしい思い出です。

川俣幼稚園が今回

休園になり、私自身もこの地域の良きや園の歴史を少しずつ分かってきたところだったため寂しい気持ちもありますが、子どもたちとは「お互い新しい環境になるけど一緒に頑張ろうね。自分の言葉で

伝えたいことが言えるようになるうね」と話してきました。さくら組の子どもたちはみんな前向きなので、新しい環境に大きな夢と希望を抱いています。川俣南幼稚園ではこれまでよりも友達が増えて、今までできなかった遊びもできるよくなると思います。

新しい幼稚園になってもこれまで通り、友達思いで、友達が大好きな子どもたちでいてくれたらいいなと思います。最後に「たくさんの思い出と一緒に作ってくれてありがとう」。そう伝えたいです。

さくら組担任 木幡 真菜美さん

## 日々、成長していく姿が微笑ましくて。



子どもたちは少しずつしっかりと成長してきました。

## さくら組



## さくら組は川俣南幼稚園へ、すみれ組は小

さくら組の6名は川俣幼稚園休園に伴いこの春から川俣南幼稚園へ通います。すみれ組の13名はそれぞれの地区の小学校に入学します。みなさん、新しい環境でもたくさんのお友達と仲良く元気な生活してくださいね。